

11/28
福祉

生活困難者支援へ連携

県内34社会福祉法人あす協議会設立

多様化する福祉ニーズに対応し地域に貢献しようと、県内の介護老人福祉施設や障害者支援施設、保育所など34の各法人が連携して生活困難者

の相談に応じ、一体的、継続的な支援事業に取り組む。昨年、改正社会福祉法が施行され、社会福祉法人には社会の福祉ニーズに対応していく役割が求められた。従来の活動を維持しつつ新しい役割に取り組むため、全国で法人連携の動きが進んでおり、県内でも

県老人福祉施設協議会や県民間保育園連盟など7団体が中心となり連携を模索してきた。

設立総会は29日、福井市の県社会福祉センターで開かれる。準備事務局の県社協によると、設立する協議会では、参加する各法人がそれぞれの専門分野を生かしながら、連携して困窮者の悩みに対応。協働して支援策を検討し、関係機関に引き継いだり、経済的支援を行ったりして継続的に見守っていくとしている。県社協の担当者は「社会変化にきめ細かく対応していきたい」と話している。

(中野克規)